



秦野市と富士山；秦野市提供

秦野市地下構造(洪積下面)

秦野市で検討中のモデル

第7回 横浜国立大学

GIS・文理融合 公開研究会

地球環境時代の都市・流域イノベーション

- 『時空間情報プラットフォーム』によるアプローチ -

日時：2011年3月15日(火) 午後1時～5時 場所：横浜国立大学 附属図書館 メディア・ホール

入場無料 懇親会：午後5時30分から きゃら亭(キャンパス内) 会費4000円(要事前登録)

参加人数把握のため、事前に参加のご連絡(氏名・ご所属・人数、懇親会参加の場合は事前登録)をいただければ幸いです。

連絡先：横浜国立大学大学院環境情報研究院・佐土原研究室 電話 045-339-4247、メール nishikat@ynu.ac.jp (担当：西片)

主催：国立大学法人 横浜国立大学

担当：学内重点化競争の経費(学長戦略分)プロジェクト「知的情報基盤で地域の実践課題解決を支援する学際的・文理融合型学術研究拠点の構築」プロジェクトチーム、環境情報研究院基軸プロジェクト「分野横断・文理融合型地域研究教育を実現する知的情報基盤の構築」プロジェクトチーム、横浜国立大学グローバルCOEプログラム「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」、安心・安全の科学研究教育センター、地域実践教育研究センター、神奈川拡大流域圏空間情報プラットフォーム研究会

(次ページにプログラム)

プログラム

都市域での人口減少高齢化が急速に進む中、気候変動、生物多様性の喪失という地球環境問題に直面している今日、私たちには足元からこれらの課題に総合的に取り組む、いきいきとした社会を創り出す英知が求められています。そのためのITツールとして『時空間情報プラットフォーム』を開発し、このプラットフォーム上に異分野（地球科学、水環境、森林生態、土壌生態、農業経済、地方財政、産業経済、都市計画、都市環境、地下地質モデル、水理、都市気候など）の研究者が集い、分野横断・文理融合で現状の把握と今後の変化を可視化し、それに基づく将来の姿や社会システムについて研究することをめざして、秦野市を中心に神奈川拡大流域圏での具体的な取り組みを進めています。本公開研究会では、その中間報告とこれからの展開について報告し議論します。

【司会：横浜国立大学 吉田 聡】

開会あいさつ

横浜国立大学大学院環境情報研究院長 有馬 眞

趣旨説明 主要な変化の要因（人口減少超少子高齢化、グローバル化、気候変動）について 横浜国立大学 佐土原 聡 13:05～13:15

第 部 数理モデル・シミュレーションの役割と可能性 13:15～14:50

目に見え感じることができない、大気・水・熱循環の短長期、局所大局にわたる動きを「数理」と捉え再現することで、適切な政策立案に活かし、将来の客観予測を通して、人間の不安に応えることが求められている。秦野市の事例や地球シミュレーターによる都市熱環境の再現例などを参考に、時空間情報プラットフォームの重要な機能となる数理モデルとシミュレーションについて検討する。

プレゼンテーション 13:15～14:15

1. シミュレーションの役割と水熱物質循環への展開 東京大学 登坂博行 13:15
2. 秦野市地下構造立体モデル (株)防災技術 堀伸三郎 13:25
3. 秦野市水循環シミュレーション結果 (株)地圏環境テクノロジー 西岡 哲 13:40
4. 都市の温熱環境高解像度シミュレーション (独)海洋研究開発機構 高橋桂子 13:55

全体討議 14:15～14:50 講演者+コメンテーター コーディネーター 佐土原聡

コメンテーター：有馬眞・有澤博(以上横浜国立大学)

休 憩 (14:50～15:00)

第 部 都市・流域イノベーション - 自然力を引き出し活かす - 15:00～16:50

日本は世界でもかつてない急速な人口減少超少子高齢化により、社会経済の全面的なイノベーションが待たない。更にグローバル化と地球環境問題の深刻化はそれに拍車をかける。人口減少により都市・流域で放棄される林地・農地・市街地の低・未利用の余剰空間を活用し、地球環境への負荷を軽減し、気候変動に適応しつつ、社会コストを低減し、生活を充実させる、美しい都市・流域空間を実現していかなければならない。神奈川での人口減少超少子高齢化とグローバル化を予測し、時空間情報プラットフォームを活用した文理融合の取り組みにより、それらを克服できる「自然力を引き出し活かす」都市づくりを検討する。

プレゼンテーション 15:00～16:00

1. 地中熱利用の可能性 NPO 法人地中熱利用促進協会 笹田政克 15:00
2. 都市近郊里山の創生 横浜国立大学 小池文人 15:15
3. 文理融合研究の可能性 横浜国立大学 及川敬貴・中野伸子 15:30
4. 横浜市の挑戦 横浜市環境創造局 尾仲富士夫 15:45

全体討議 16:00～16:50 講演者+コメンテーター コーディネーター 佐土原 聡

コメンテーター：北山 恒(横浜国立大学)

閉会あいさつ

横浜国立大学地域実践教育研究センター長 高見沢 実